

めぐみイエス・キリスト教会

2021年1月24日(日)第四主日新年礼拝
週報「通算第541号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】	
【賛美Ⅰ】	新聖歌40「ガリラヤの風香る丘で」p. 57
【交読文】	No.3 詩篇第16篇 p. 880
【賛美Ⅱ】	新聖歌266「罪・咎を赦され」 p. 418
【使徒信条】	
【主の祈り】	
【先週説教】	
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美19「共に住み、共に生き」
【聖書朗読】	マタイの福音書5章9節(2017新約p. 6)
【礼拝説教】	《平和をつくる者》
【聖餐式】	
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235
【平和祈り】	
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
【祝祷後奏】	

◎本日の聖書箇所【マタイの福音書5章9節】

5:9 「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。」

●ポイント1. 「平和」とは？

※イザヤ書9章6節～7節「平和の君と呼ばれる方」(新約p.1181上段)

9:6 ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

9:7 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。今よりとこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。

●ポイント2. 私たちの人生の土台とは？

※マタイの福音書7章24節～27節「主イエスのたとえ」(新約p.12下段)

7:24「ですから、私のこれらの言葉を聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。

7:25 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした。岩の上に土台が据えられていたからです。

7:26 また、私のこれらの言葉を聞いて、それを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人にたとえることができます。

7:27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもその倒れ方はひどいものでした。」

●ポイント3. マナと、主イエスの約束について

※出エジプト記16章14節～35節「四十年間に」(旧約p.128下段右側)

※マタイの福音書6章31節～34節「山上の垂訓から」(新約p.11上段)

6:31「ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。

6:32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

6:33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

6:34 ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」

◎先週のメッセージの概要【「平安があなたがたにあるように」】

《『「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされたように、私もあなたがたを遣わします。聖霊を受けなさい。」』が、今年の標題聖句です。

さて今週の様子は、主イエスがよみがえられ、弟子たちにその姿を現わされた八日後、すなわち一週間後の出来事になります。十二弟子の一人デドモと呼ばれたトマスは、主イエスが来られた時、なぜか彼らと一緒にいませんでした。主イエスが去られた後、トマスは戻って来ます。そこで、十人の使徒たちは彼に「私たちは主を見た」と証したわけです。しかしトマスは、「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言いはったのです。

主イエスの最初の命令は、「私の兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えます。」とのことでした。八日目になりましたが彼らはまだエルサレムにいます。トマスが動こうとはしなかったからです。

この時には、使徒全員が集まっていた。鍵がかけられていたが、突然、彼らの真ん中に主イエスが来られたのです。「平安があなたがたにあるように。」主のこの言葉は、トマスに向けて語られています。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

この出来事から、主が一人一人の魂をいかに大切にしておられるかが、また人それぞれに対する主の対応が異なっていることが分かります。「私の主、私の神よ。」トマスは感激して言います。主イエスは答えます。「あなたは私を見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

現在の私たちは、彼らのように主を見る事も触れる事もできませんが、『信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いて下さる方であることを、信じなければならぬのです。イエス・キリストは、永久に変わることがありません。』と、ヘブル書の著者は勧めています。》

◎お知らせ

※次回礼拝は2021年1月31日(日)教会において行ないます。聖書勉強会と祈り会は、1月27日(水)各家庭において行ないます。